

日本の海岸植物チェックリスト

澤田佳宏¹⁾・中西弘樹²⁾・押田佳子³⁾・服部保¹⁾*

A check list of coastal plants in Japan

Yoshihiro SAWADA¹⁾, Hiroki NAKANISHI²⁾, Keiko OSHIDA³⁾
and Tamotsu HATTORI¹⁾*

Abstract

To comprehend Japanese coastal flora and their endangerment status, we investigated the habitats, the life forms, the distributions and the Red Data Book (RDB) categories of Japanese coastal plants by referring to local flora lists and the other literature. In this study, we defined "coastal plants" as "native vascular plants which are found only at coastal areas but are seldom found inland". We listed 280 species (64 families) of coastal plants from Japan. 82 species of them were endemic to Japan. 3 species were parasites. 83 species were ranked in the Japanese national RDB. The distributions and prefectural RDB categories of coastal plants at 45 localities in Japan were shown in an appendix table.

Key words : coastal plants, distribution, endangered species, flora, Japan, Red Data Book

はじめに

日本は5000を越す島から成る島国で、総延長約32800 kmにおよぶ海岸線をもつ(環境庁自然保護局, 1998a, b)。この海岸線は、冷温帯から亜熱帯まで幅広い気候帯にまたがり、また、砂浜・砂丘・礫浜・岩場・海崖・塩湿地などの多様な地形を含んでいる。このように変化に富んだ海岸線は、多様な海岸植物を育くむ場となっており、大スケール(地域・国スケール)での種の多様性に貢献していると考えられる。

しかし、海岸の環境は埋め立てや護岸整備などの人為的改変を受けやすく、それにとまって海岸植物の生育地は失われやすい。環境庁が1996-1997年に実施した調査では、日本の本土部の海岸線の41%、島嶼部の海岸線の21%は人工海岸(潮間帯がコンクリートなどの人工構

造で構成された海岸)であったと報告されている(環境庁自然保護局, 1998a, b)。

こうしたことから、海岸植物の保全は、地域・国レベルの生物多様性を保全する上での重要な課題のひとつといえる。海岸植物の保全を推進するにあたっては、まず海岸植物の種の多様性の実態、すなわち、日本の海岸植物相とその総種数・ハビタット・分布・絶滅危惧の現状などを総論的に把握することが有効である。どのような種が海岸環境に特異的に分布する種であるかは、これまでに発行された植物誌資料や植生調査資料などによって、個別には、ほぼ明らかにされているが、これらを取りまとめたりリストはなく、また、地域ごとの分布や絶滅危惧の現状を総括した資料は整備されていない。そこで、日本国内に分布する海岸植物種の分布・生活形・ハビタット・絶滅危惧の現状を総論的に把握するため、植物図鑑

¹⁾ 兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境再生研究部 〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6 Division of Ecological Restoration, Museum of Nature and Human Activities, Hyogo; Yayoigaoka 6, Sanda, 669-1546 Japan

²⁾ 長崎大学教育学部生物学教室 〒852-8521 長崎市文教町1-14 Biological Laboratory, Faculty of Education, Nagasaki University; 1-14, Bunkyo-machi, Nagasaki, Nagasaki 852-8521, Japan

³⁾ 日本大学理工学部海洋建築工学科 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of Science and Technology, Nihon University; 7-24-1, Narashinodai, Funabashi, Chiba 274-8501, Japan

* 兼任: 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 Institute of Natural and Environmental Sciences, University of Hyogo

類・植物誌資料・全国版および都道府県版レッドデータブック(RDB)等を対象に文献調査をおこない、海岸植物の一覧表を作成した。

調査方法

1. 調査対象種

本調査の調査対象は「海岸植物」とした。ここで、海岸植物は「海と陸との境界部に特有の立地(砂浜・砂丘・塩湿地・河口汽水域・海崖・岩場・浅海域など)を主な生育地とし、それ以外の立地にはほとんど出現しない在来の維管束植物種」と定義した。したがって、海岸の植生に頻出する種であっても、内陸の環境にも多く出現するものや、外来種は含めないこととした。

2. 調査対象資料等

本調査に用いた資料は、(1)植物図鑑および便覧、(2)地域植物誌・植物目録、(3)全国版および都道府県版RDB、(4)兵庫県立人と自然の博物館の収蔵標本、(5)その他の資料等、とした。

植物図鑑および便覧としては、宮脇ほか(1978)、佐竹ほか(1981, 1982a, 1982b, 1989a, 1989b)、岩槻(1992)、長田(1993)、角野(1994)、浜(2002)、勝山(2005)を用いた。

地域植物誌・植物目録としては、三重県生物調査委員会(1951)、北村(1968)、熊本記念植物採集会(1969)、紅谷(1971)、岡ほか(1972, 2000)、結城(1972)、千葉県生物学会(1975)、福岡県高等学校生物研究部会(1975)、初島(1975, 1986)、山本(1978)、山中(1978)、香川県環境保健部自然保護課(1980, 1981, 1983, 1984)、外山(1980)、鈴木ほか(1981)、馬場(1982)、石川植物の会(1983)、太田ほか(1983)、杉本(1984)、福島県植物誌編さん委員会(1987)、大分県植物誌刊行会(1989)、渡辺(1989)、阿部(1990)、上野(1991)、小林(1992)、室屋・南谷(1992)、細井(1994)、南川(1995)、広島大学理学部付属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(1997)、東京都環境保全局自然保護部(1998a)、大久保(1999)、藤原ほか(2000)、大阪府環境農林水産部緑の環境整備室(2000a)、神奈川県植物誌調査会(2001)、宮城植物の会・宮城県植物誌編集委員会(2001)、滝田(2001)、千葉県史料研究財団(2003)、岡山県生活環境部自然環境課(2003a)、豊田(2003)、村田(2004)、杵村(2005, 2006)を用いた。

全国版RDBとしては環境庁自然保護局野生生物課(2000)を用いた。都道府県版RDBとしては、2006年7月現在、各都道府県の最新版である、東京都環境保全局自然保護部(1998b)、茨城県生活環境部環境政策課

(1999)、石川県環境安全部自然保護課(2000)、高知県牧野記念財団(2000)、宮城県版レッドデータブック作製検討委員会(2000)、大阪府環境農林水産部緑の環境整備室(2000b)、愛知県環境部自然環境課(2001)、福岡県環境部自然環境課(2001)、北海道環境生活部環境室自然環境課(2001)、岩手県生活環境部自然保護課(2001)、宮城県環境生活部自然保護課(2001)、長崎県自然保護協会(2001)、新潟県環境生活部環境企画課(2001)、大分県自然環境学術調査会野生生物専門部会(2001)、佐賀県希少野生生物調査検討会(2001)、徳島県版レッドデータブック掲載種検討委員会(2001)、和歌山県環境生活部環境生活総務課(2001)、秋田県生活環境文化部自然保護課(2002)、福島県生活環境部環境政策課(2002)、京都府企画環境部環境企画課(2002)、鳥取県自然環境調査研究会(2002)、富山県生活環境部自然保護課(2002)、山口県野生生物保全対策検討委員会(2002)、愛媛県貴重野生動物検討委員会(2003)、兵庫県県民生活部環境局自然環境保全課(2003)、鹿児島県環境生活部環境保護課(2003)、岡山県生活環境部自然環境課(2003b)、千葉県環境財団(2004)、福井県福祉環境部自然保護課(2004)、広島県版レッドデータブック見直し検討会(2004)、香川県希少野生生物保護対策検討会・香川県(2004)、熊本県希少野生動物検討委員会(2004)、鳥根県環境生活部景観自然課(2004)、静岡県自然環境調査委員会(2004)、山形県野生植物調査研究会(2004)、青森県(2006)、三重県環境森林部自然環境室(2006)、沖縄県文化環境部自然保護課(2006)、滋賀生きもの総合調査委員会(2006)、高桑ほか(2006)を用いた。

その他の資料として、生駒(1963)、清末(1967a, 1967b, 1980)、小林(1968a, 1968b)、清水(1982)、宮脇(1983)、藤木ほか(2001)のほか、WWW上の資料である「鳥取県立博物館資料データベース」(<http://digital-museum.pref.tottori.jp/contents/> 2006年7月26日参照)を用いた。

3. 海岸植物の選定

海岸植物種の選定はつぎのようにしておこなった。まず、前述の植物図鑑および便覧を参照し、生育環境について「海岸」「砂浜」などの海岸に関する記述のある種を抽出した。つぎに、前述の地域植物誌・植物目録等に記載された各種の詳細な分布情報を整理・検討し、海岸から数キロメートルの内陸にまで多く分布する種(アシタバ、クマノギク、コウラボシ、サイカイヤブマオ、シマキケマン、ソナレアマチャヅル、タイキンギク、ダンチク、ツルソバ、ツワブキ、トベラ、ニオウヤブマオ、ニラバラン、マサキ、マルバグミなど)、さらに内陸の中性的な環境まで広く分布している種(イガガヤツリ、オニ

ヤブソテツ, ハマツメクサ, ハマハナヤスリ, ヒトモトススキ, ヒロハクサフジなど), 海岸と河原の両方に分布の中心をもつような種(カワラアカザ, カワラサイコ, カワラヨモギ, ヒロハノカワラサイコなど)を除外した。内陸にも例外的に分布するが, 主たる分布地が海岸と考えられる種(アキノミチャナギ, イヨカズラ, エゾハコベ, クサスギカズラ, ドロイ, ハマウツボ, マルバアカザなど)は海岸植物に含めた。雑種(コハマナス, スナシバ, ニジガハマギク, ヒノミサキギク)は除外した。

4. 海岸植物の一覧表の作成

選定された海岸植物について, そのハビタット・生活形・分布および各都道府県版RDBにおけるカテゴリーについて, 文献を調査・整理し, 海岸植物の一覧表を作成

した。

4-1. ハビタット

上述の各種図鑑・便覧・地域植物誌の記述をもとに, 選定された海岸植物のハビタットを整理した。ハビタットのカテゴリーは, (1) 砂浜・砂丘・礫浜, (2) 塩湿地・マングローブ・河口汽水域, (3) 岩場・海崖・隆起サンゴ礁, (4) 海岸風衝草原・海岸低木林, (5) 浅海域の5カテゴリーとした。種によっては複数のハビタットに出現するものや, 分布域の辺縁で異なるハビタットに出現するものもあるが, ここでは, 図鑑および植物誌の記載を参照し, もっとも代表的と考えられる1つのハビタットに区分することとした。

4-2. 生活形

上述の各種図鑑, 便覧, 地域植物誌の記述をもとに,

Table 1 Correspondence table of the categories in prefectural RDBs.

表1 各都道府県版RDBのカテゴリー対応表

Red Data Books		Categories				
Prefecture	Publish year	"X" in appendix 1	"A" in appendix 1	"B" in appendix 1	"C" in appendix 1	"D" in appendix 1
Hokkaido	2001	Ex, Ew	Cr, En	Vu	R	-
Aomori	2006	EX	A	B	C	D
Iwate	2001	Ex, Ew	A	B	C	情報不足
Akita	2002	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD
Miyagi	2001	EX, EW	CR+EN	VU	NT	DD
Yamagata	2004	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD
Fukushima	2002	EX+EW	A	B	C	D, NE
Ibaraki	1999	EX	E	V	R	-
Chiba	2004	X	A, B	C	D	-
Tokyo	1998	D	A	B	C	UK
Kanagawa	2006	EX	CR, EN	VU	NT	DD
Niigata	2001	EX, EW	EN	VU	NT	-
Toyama	2002	X	CR+EN	VU	NT	DD
Ishikawa	2000	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD
Fukui	2004	県域絶滅	県域絶滅危惧I類	県域絶滅危惧II類	県域準絶滅危惧	要注目
Shizuoka	2004	EX, EW, N-I	CR, EN	VU	NT	DD
Aichi	2001	EX, EW	CR, EN	VU	NT	-
Mie	2005	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD
Wakayama	2001	EX	CR, EN	VU	NT	DD
Shiga	2006	絶滅	絶滅	絶増	希少	要注
Kyoto	2002	絶滅	絶滅寸前	絶滅危惧	準絶滅危惧	要注目
Osaka	2000	絶滅	絶滅危惧I類	絶滅危惧II類	準絶滅危惧	情報不足
Hyogo	2003	今みられない	A	B	C	-
Tottori	2002	EX, EW	CR+EN	VU	NT	DD
Okayama	2003	絶滅, 野生絶滅	絶滅危惧	危急	準危急	情報不足
Shimane	2004	EX, EW	CR+EN	VU	NT	DD
Hiroshima	2004	EX, EW	CR+EN	VU	NT	DD
Yamaguchi	2002	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD
Tokushima	2001	EX	CR+EN	VU	NT	DD
Kagawa	2004	EX, EW	CR+EN	VU	NT	DD
Ehime	2003	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD
Kochi	2000	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD
Fukuoka	2001	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD
Saga	2001	絶滅種	絶滅危惧I類種	絶滅危惧II類種	準絶滅危惧種	情報不足種
Nagasaki	2001	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD
Oita	2001	野生絶滅	IA, IB	II	準	情報不足
Kumamoto	2004	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD
Miyazaki	2000	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD
Kagoshima	2003	絶滅, 野生絶滅, 地域絶滅	危惧I	危惧II	準危惧	情報不足
Okinawa	2006	EX, EW	CR, EN	VU	NT	DD

選定された海岸植物の生活形を整理した。生活形のカテゴリは、「1回繁殖型草本」「多年草」「落葉低木」「常緑低木」「常緑針葉低木」「落葉高木または落葉小高木」「常緑高木または常緑小高木」「常緑藤本」に区分し、さらに、「沈水植物」および「寄生植物」を区分した。

4-3. 固有性

国内外の分布域を整理し、日本に固有の種を抽出した。

4-4. 国内の地域ごとの分布

日本の47都道府県のうち、海岸線をもつ39都道府県、および琵琶湖を有する滋賀県、以上40都道府県を対象として、海岸植物の地域ごとの分布を整理した。地域の区分は原則として都道府県を単位としたが、東京都・兵庫県・鹿児島県の3都県については、生物地理や海域を考慮して、つぎのように細区分した。東京都は「本土部」「伊豆諸島」「小笠原諸島」の3地域に、兵庫県は「日本海側」「瀬戸内海側」の2地域に、鹿児島県は「本土部」「吐喝喇海峡以北の島嶼（屋久島・種子島・甌島列島・宇治群島・草垣群島）」「吐喝喇海峡以南の島嶼（吐喝喇列島・奄美諸島）」の3地域に、それぞれ区分した。これにより、40都道府県の45地域の分布情報の整理がおこなった。分布情報は、前述の地域植物誌や植物目録、図鑑等にもとづいておこなったが、兵庫県を細区分するにあたっては、兵庫県立人と自然の博物館の収蔵標本も参照した。なお、地域ごとの分布を整理するにあたって、国内移入種と考えられるものは整理対象から除外した。

4-5. 地域ごとの絶滅危惧の現状

上記の40都道府県45地域における海岸植物の絶滅または絶滅危惧の状況を、前述の都道府県版RDBを参照して整理した。各都道府県版RDBの間でカテゴリーやその基準は統一されていないが、多くの都道府県版RDBは全国版RDB（環境庁自然保護局野生生物課，2000）のカテゴリー・基準にほぼ準拠し、その対応関係が明示されている。全国版とのカテゴリーの対応が明示されていないものでも、カテゴリーの定義や順位を参照することで全国版のカテゴリーと対応づけられる。そこで、各都道府県版RDBのカテゴリーを次の5つのカテゴリーに読み替えた。すなわち、(1) 全国版RDBにおける絶滅（EX）および野生絶滅（EW）に相当するカテゴリー、(2) 絶滅危惧I類（CRおよびEN）に相当するカテゴリー、(3) 絶滅危惧II類（VU）に相当するカテゴリー、(4) 準絶滅危惧（NT）に相当するカテゴリー、(5) 情報不足（DD）に相当するカテゴリー、以上5つである。これら以外のカテゴリー（“要注目種”や“分布重要種”などの各都道府県版RDB独自カテゴリー）については、絶滅危惧の現状との関連が薄いため整理の対象としなかった。ただし、静岡県版RDBの「要注目種・N-I」カテゴリーは、30年間現状が確認されていないものを指しており、これは他の都道府県版では「絶滅」相当と判断される場合が多い

ため、ここでは、絶滅相当として扱った。各都道府県版RDBカテゴリーと上記の5カテゴリーの対応を表1に示した。

5. 科名・和名・学名

科名・和名・学名は、原則として佐竹ほか（1981，1982a，1982b，1989a，1989b）および岩槻（1992）に準拠した。ただし、イネ科については長田（1993）、汽水域の水草の一部は角野（1994）、スゲ属については勝山（2005）に拠った。また、以上の文献に記載のない種については初島（1975）や神奈川県植物誌調査会（2001）など、他の資料も参照した。

結果と考察

文献等の調査によって作製した「海岸植物の一覧表」を付表1に示した。種の配列は新エングレー体系で科を配列し、科の中では学名アルファベット順とした。学名はスペースの都合で命名者名を省略した。

調査の結果、日本国内に分布する海岸植物として、64科280種（亜種・変種・品種を含む）が選定された。国内に分布している維管束植物の総種数約8000種（環境庁自然保護局野生生物課，2000）に対し、約4%の種が、海と陸の境界線上の極めて狭いハビタットに依存して生育していることがわかった。

海岸植物のうち日本の固有種と考えられる種は、全体の約30%にあたる82種であった。海岸のハビタット間で、固有種率（全種に占める固有種の割合）に顕著な差がみられた。「岩場・海崖・隆起サンゴ礁」に生育する植物では約56%（84種中47種）と高い固有種率を示したのに対し、「塩湿地・マングローブ・河口汽水域」に生育する植物では約7%（61種中4種）、「浅海域」に生育する植物では約7%（15種中1種）、「砂浜・砂丘・礫浜」に生育する植物では約19%（79種中15種）と固有種率が低かった。

今回の文献調査で把握できた範囲で、海岸植物の豊富な地域は、沖縄県および吐喝喇海峡以南の鹿児島県で、それぞれ134種、114種が確認された。これに対し、海洋島である小笠原諸島では海岸植物は26種と少なかった。また、国内で唯一、内陸部に海岸植物を有する滋賀県琵琶湖岸では5種が記録され、これらはいずれも砂浜や砂丘をハビタットとする種（ハマナデシコは岩場等の種としているが砂浜にもよく出現する）であった。

海岸に生育する植物には「海岸にも内陸にも生育する植物」と「海岸にしか生育しない植物」とがあり、後者は海岸環境の改変による影響を直接的に受けやすいと考えられる。本調査では海岸植物の定義は後者とした。したがって本調査で抽出した種（付表1に示した種）は、

海岸環境の変化による影響を受けやすい種群といえる。今回選定した海岸植物277種のうち、全国版RDB(環境庁自然保護局野生生物課, 2000)に記載された植物は83種で、全国版RDB記載種率(全種に対する記載種の割合)は約30%であった。この値は、服部ほか(2002)が照葉樹林構成種について算出した値とほぼ同じ値であった。全国版RDB記載種率は、海岸のハビタット間で顕著な差がみられた。「浅海域」の植物では全国版RDB記載種率が87%(15種中13種)と極めて高く、海中の維管束植物(いわゆる海草)が危機的な状況となっていること(相生, 1998)をよく示している。以下、「塩湿地・マングローブ・河口汽水域」の植物が43%(61種中26種)、「岩場・海崖・隆起サンゴ礁」の植物が31%(84種中26種)、「海岸風衝草原・海岸低木林」の植物が20%(41種中8種)、「砂浜・砂丘・礫浜」の植物が13%(79種中10種)と続いた。全国版RDB記載種率から国スケールでの絶滅の危険性を見た場合、「砂浜・砂丘・礫浜」の危険性は他のハビタットのそれに比べて低いことが示された。ただし、澤田ほか(2006)は、国スケールより小さなスケール(県スケールなど)で見た場合には、岩場や海崖よりも、むしろ砂浜や砂丘で絶滅が進行しやすいことを指摘している。

謝 辞

この資料をとりまとめるにあたって、岐阜大学教育学部の高橋弘教授、(株)里と水辺研究所の田村和也さん・赤松弘治さんには、貴重な植物誌資料をお貸しいたいただきました。神戸大学発達科学部植生研究室の福井 聡さん、(株)ウェスコの内田 圭さん、兵庫県立人と自然の博物館の土居廣代さん・馬渡朝子さん・南山典子さんには、資料の整理を手伝っていただきました。これらの方に深く感謝いたします。

要 旨

日本の海岸植物種の分布・生活形・ハビタット・絶滅危惧の現状を総論的に把握するため、植物図鑑・植物誌資料・レッドデータブック(RDB)等を対象に文献調査をおこない、海岸植物の一覧表を作成した。ここで、「海岸植物は、海と陸との境界部に特有の立地を主な生育地とし、それ以外の立地にはほとんど出現しない在来の維管束植物種」と定義した。調査の結果、日本の海岸植物として64科280種が選定され、海岸に特有の植物が日本の全フロラの約4%を占めることがわかった。このうち82種(亜種・変種・品種を含む)は日本の固有種と考えられた。3種は寄生植物であった。83種は全国版RDB(環境庁自然保護局野生生物課2000)に記載のある絶滅

のおそれのある植物であった。一覧表では、40都道府県45地域種の分布を整理した。また、最新(2006年7月時点)の都道府県版RDBの記載状況も示した。

文 献

- 阿部近一(1990)徳島県植物誌。教育出版センター、徳島、580p。
 愛知県環境部自然環境課(編)(2001)愛知県の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックあいち-植物編-。愛知県環境部自然環境課、名古屋、714p。
 相生啓子(1998)日本の海草-植物版レッドリストより-。海洋と生物、20(1)、7-12。
 秋田県生活環境文化部自然保護課(編)(2002)秋田県の絶滅のおそれのある野生生物2002-秋田県版レッドデータブック-植物編-。秋田県環境と文化のむら協会、秋田、207p。
 青森県(2006)青森県の希少な野生生物-青森県レッドリスト(2006年改訂増補版)-。青森県、青森、113p。
 馬場胤義(1982)佐賀県植物目録-1981-。佐賀植物友の会、佐賀、266p。
 千葉県環境財団(編)(2004)千葉県レッドリスト:千葉県の保護上重要な野生生物(植物編)(2004年改訂版)。千葉県環境生活部自然保護課、千葉、24p。
 千葉県生物学会(編)(1975)新版千葉県植物誌。井上書店、東京、567p。
 千葉県史料研究財団(編)(2003)千葉県の自然史 別編4 千葉県植物誌。千葉県、千葉、1181p。
 愛媛県貴重野生動物検討委員会(編)(2003)愛媛県レッドデータブック-愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物-。愛媛県県民環境部環境局自然保護課、松山、455p。
 藤木大介・山中典和・玉井重信(2001)鳥取砂丘における植生タイプと埋土種子集団の関係。日本緑化工学会誌、26(3)、209-222。
 藤原陸夫・松田義徳・阿部裕紀子(2000)秋田県植物目録 第9版。秋田県植生研究会、秋田、143p。
 福井県福祉環境部自然保護課(編)(2004)福井県の絶滅のおそれのある野生生物2004福井県レッドデータブック(植物編)。福井県福祉環境部自然保護課、福井、196p。
 福岡県環境部自然環境課(編)(2001)福岡県の希少野生生物-福岡県レッドデータブック2001-。福岡県総務部県民情報広報課、福岡、447p。
 福岡県高等学校生物研究部会(編)(1975)福岡県植物誌。博洋社、福岡、339p。
 福島県生活環境部環境政策課(編)(2002)レッドデータブックふくしま-福島県の絶滅のおそれのある野生生物-(植物・昆虫類・鳥類)。福島県生活環境部環境政策課、福島、417p。
 福島県植物誌編さん委員会(編)(1987)福島県植物誌。福島県植物誌編さん委員会、いわき、481p。
 浜 栄助(2002)増補 原色日本のスマレ。誠文堂新光社、東京、280+49p。
 初島住彦(1975)琉球植物誌(追加・訂正)訂正増刷版。沖縄生物教育研究会、那覇、1002p。
 初島住彦(1986)改訂鹿児島県植物目録。鹿児島植物同好会、鹿児島、290p。
 服部 保・石田弘明・小舘誓治・南山典子(2002)照葉樹林フロラの特徴と絶滅のおそれのある照葉樹林構成種の現状。ランド

- スケープ研究, 65 (5), 609-614.
- 広島大学理学部付属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会 (1997) 広島県植物誌. 中国新聞社, 広島, 832p.
- 広島県版レッドデータブック見直し検討会(編)(2004)改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブックひろしま2003 - . 広島県, 広島, 515p.
- 北海道環境生活部環境室自然環境課(編)(2001)北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック2001. 北海道, 札幌, 309p.
- 細井幸兵衛(1994)青森県野生植物目録. 細井幸兵衛, 青森, 84p.
- 兵庫県県民生活部環境局自然環境保全課(編)(2003)改訂・兵庫の貴重な自然 - 兵庫県版レッドデータブック2003 - . 財団法人ひょうご環境創造協会, 神戸, 382p.
- 茨城県生活環境部環境政策課(編)(1999)茨城県版レッドデータブック茨城県における絶滅のおそれのある野生生物(植物編)普及版. 茨城県生活環境部環境政策課, 水戸, 97p.
- 生駒義博(1963)山陰海岸の植物. 日本自然保護協会(編), 日本自然保護協会調査報告第7号山陰海岸国立公園候補地学術調査報告書, 55-64.
- 石川県環境安全部自然保護課(編)(2000)石川県の絶滅のおそれのある野生生物 植物編. 石川県環境安全部自然保護課, 石川, 358p.
- 石川植物の会(編)(1983)石川県植物誌. 石川県, 石川, 227p.
- 岩手県生活環境部自然保護課(編)(2001)いわてレッドデータブック - 岩手県の希少な野生生物 - . 岩手県生活環境部自然保護課, 盛岡, 613p.
- 岩槻邦男(編)(1992)日本の野生植物シダ. 平凡社, 東京, 311p.
- 角野康郎(1994)日本水草図鑑. 文一総合出版, 東京, 178p.
- 香川県環境保健部自然保護課(編)(1980)香川県植物誌(合弁花). 香川県環境保健部自然保護課, 高松, 28p.
- 香川県環境保健部自然保護課(編)(1981)香川県植物誌(離弁花). 香川県環境保健部自然保護課, 高松, 45p.
- 香川県環境保健部自然保護課(編)(1983)香川県植物誌(単子葉・裸子). 香川県環境保健部自然保護課, 高松, 27p.
- 香川県環境保健部自然保護課(編)(1984)香川県植物誌(シダ植物). 香川県環境保健部自然保護課, 高松, 11p.
- 香川県希少野生生物保護対策検討会・香川県(編)(2004)香川県レッドデータブック香川県の希少野生生物. 香川県自然環境保全調査会, 高松, 416p.
- 鹿児島県環境生活部環境保護課(編)(2003)鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物 植物編 - 鹿児島県版レッドデータブック - . 財団法人鹿児島県環境技術協会, 鹿児島, 657p.
- 神奈川県植物誌調査会(2001)神奈川県植物誌2001. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原, 1582p.
- 環境庁自然保護局(編)(1998a)第5回自然環境保全基礎調査海辺調査総合報告書. 環境庁自然保護局, 東京, 260p.
- 環境庁自然保護局(編)(1998b)第5回自然環境保全基礎調査海辺調査データ編. 環境庁自然保護局, 東京, 955p.
- 環境庁自然保護局野生生物課(編)(2000)改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 8 植物(維管束植物). 自然環境研究センター, 東京, 660p.
- 勝山輝男(2005)日本のスゲ. 文一総合出版, 東京, 376p.
- 北村四郎(1968)滋賀県植物誌. 保育社, 大阪, 362p.
- 清末忠人(1967a)鳥取県浦富海岸の海岸植物(予報1). 植物と自然, 1, 31-33.
- 清末忠人(1967b)鳥取県浦富海岸の海岸植物(予報2). 植物と自然, 1, 36-37.
- 清末忠人(1980)弓ヶ浜半島における砂浜植物の生態学的研究 - 境港市外浜海岸の植生 - . 鳥取県立博物館研究報告, 17, 1-12.
- 小林秀樹(1968a)三重県の海岸植物. 三重生物, 18, 33-41.
- 小林秀樹(1968b)三重県の海岸植物(その2). 三重生物, 19, 32-40.
- 小林禎樹(1992)淡路島の植物誌. 自然環境研究所, 津名, 217p.
- 高知県牧野記念財団(編)(2000)高知県レッドデータブック[植物編]高知県の保護上重要な野生生物. 高知県文化環境部環境保全課, 高知, 422p.
- 紅谷進二(1971)兵庫県植物目録. 六月社書房, 大阪, 173p.
- 熊本県希少野生動植物検討委員会(編)(2004)熊本県の保護上重要な野生生物リスト - レッドリストくまもと2004. 熊本県環境生活部自然保護課, 熊本, 67p.
- 熊本記念植物採集会(1969)熊本懸植物誌. 長崎書店, 熊本, 436p.
- 京都府企画環境部環境企画課(編)(2002)京都府レッドデータブック上巻野生生物編. 京都府企画環境部環境企画課, 京都, 935p.
- 三重県環境森林部自然環境室(編)(2006)三重県レッドデータブック2005植物・キノコ. 三重県環境保全事業団, 津, 534p.
- 三重県生物調査委員会(1951)三重県産生物目録. 三重県生物調査委員会, 津, 352p.
- 南川 幸(編)(1995)愛知県の植物相. 愛知県農林務部自然保護課, 名古屋, 328p.
- 宮城県環境生活部自然保護課(編)(2001)宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - . 宮城県環境生活部自然保護課, 仙台, 442p.
- 宮城植物の会・宮城県植物誌編集委員会(編)(2001)宮城県植物目録2000. 宮城植物の会・宮城県植物誌編集委員会, 仙台, 378p.
- 宮脇 昭(1983)日本植生誌中国. 至文堂, 東京, 540p.
- 宮脇 昭・奥田重俊・望月睦夫(1978)改訂版日本植生便覧. 至文堂, 東京, 872p.
- 宮崎県版レッドデータブック作製検討委員会(編)(2000)宮崎県版レッドデータブック宮崎県の保護上重要な野生生物. 宮崎県環境科学協会, 宮崎, 384p.
- 村田 源(2004)近畿地方植物誌. 大阪自然史センター, 大阪, 257p.
- 室屋瀧雄・南谷忠志(1992)宮崎の維管束植物. 宮崎県高等学校教育研究会理科・生物部会(編), 宮崎県の生物, 鉾脈社, 宮崎, 55-84.
- 長崎県自然保護協会(編)(2001)ながさきの希少な野生動植物レッドデータブック2001(普及版). 長崎県自然保護協会, 長崎, 211p.
- 新潟県環境生活部環境企画課(編)(2001)レッドデータブックにいがた. 新潟県環境生活部環境企画課, 新潟, 467p.
- 大分県自然環境学術調査会野生生物専門部会(編)(2001)レッドデータブックおおいた - 大分県の絶滅のおそれのある野生生物 - . 大分県自然環境学術調査会野生生物専門部会, 大分, 507p.
- 大分県植物誌刊行会(編)(1989)新版 大分県植物誌. 大分県植物誌刊行会, 別府, 806p.
- 岡 国夫ほか(編)(1972)山口県植物誌. 山口県植物誌刊行会,

- 山口, 607p .
- 岡 国夫・見明長門・三宅貞敏・真崎 博 (2000) 山口県産高等植物目録. 山口県植物研究会, 下松, 92p .
- 岡山県生活環境部自然環境課 (2003a) 岡山県野生生物目録. 財団法人岡山県環境保全事業団, 岡山, 378p .
- 岡山県生活環境部自然環境課 (2003b) 岡山県版レッドデータブック - 絶滅のおそれのある野生生物 -. 財団法人岡山県環境保全事業団, 岡山, 465p .
- 沖縄県文化環境部自然保護課 (2006) 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編) - レッドデータブックおきなわ -. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇, 510p .
- 大久保一治 (1999) 私の採集した岡山県自然植物目録 付 帰化植物・栽培植物 増補改訂版. 岡山花の会, 岡山, 357p .
- 長田武正 (1993) 増補日本イネ科植物図譜. 平凡社, 東京, 777p .
- 大阪府環境農林水産部緑の環境整備室 (編) (2000a) 大阪府野生生物目録. 大阪府環境農林水産部緑の環境整備室, 大阪, 351p .
- 大阪府環境農林水産部緑の環境整備室 (編) (2000b) 大阪府における保護上重要な野生生物 - 大阪府レッドデータブック -. 大阪府環境農林水産部緑の環境整備室, 大阪, 442p .
- 太田 弘・小路登一・長井真隆 (1983) 富山県植物誌. 廣文堂, 富山, 430pp .
- 佐賀県希少野生生物調査検討会 (2001) 佐賀県の絶滅のおそれのある野生動物 - レッドデータブックさが - 普及版. 佐賀県快適環境づくり推進協議会, 佐賀, 135p .
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編) (1981) 日本の野生植物草本III合弁花類. 平凡社, 東京, 259p .
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編) (1982a) 日本の野生植物草本I単子葉類. 平凡社, 東京, 305p .
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編) (1982b) 日本の野生植物草本II離弁花類. 平凡社, 東京, 318p .
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編) (1989a) 日本の野生植物木本I. 平凡社, 東京, 321p .
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編) (1989b) 日本の野生植物木本II. 平凡社, 東京, 305p .
- 澤田佳宏・服部 保・内田 圭 (2006) 国版および地方版レッドデータブックからみた日本の海岸植物の絶滅危機の現状 - 本州・四国・九州における状況. 環境情報科学論文集 20, 71-76 .
- 滋賀県生きもの総合調査委員会 (2006) 滋賀県で大切にすべき野生生物 - 滋賀県レッドデータブック2005年版 -. サンライズ出版, 彦根, 563p .
- 島根県環境生活部景観自然課 (2004) 改訂しまねレッドデータブック - 島根県の絶滅のおそれのある野生動物 -. ホシザキグリーン財団, 平田, 415p .
- 清水寛厚 (1982) 鳥取砂丘とその植生. 遺伝, 36, 57-62 .
- 静岡県自然環境調査委員会 (2004) まもりたい静岡県の野生生物 - 県版レッドデータブック -(植物編). 羽衣出版, 静岡, 338p .
- 杉本順一 (1984) 静岡県植物誌. 第一法規出版, 東京, 814p .
- 杵村喜則 (2005) 島根県の種子植物相. 島根県立三瓶自然館研究報告, 3, 1-49 .
- 杵村喜則 (2006) 島根県の種子植物相 (補遺). 島根県立三瓶自然館研究報告, 4, 41-43 .
- 鈴木昌友・清水 修・安見珠子・安 昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也 (1981) 茨城県植物誌. 茨城県植物誌刊行会, 水戸, 339p .
- 高桑正敏・勝山輝男・木場英久 (編) (2006) 神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006: 植物編. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原, 222p .
- 滝田謙讓 (2001) 北海道植物図譜. 滝田謙讓, 釧路, 1452p .
- 徳島県版レッドデータブック掲載種検討委員会 (2001) 徳島県の絶滅のおそれのある野生生物 - 徳島県版レッドデータブック -. 徳島県環境生活部環境政策課, 徳島, 438p .
- 東京都環境保全局自然保護部 (編) (1998a) 東京都の野生生物種目録. 東京都環境保全局自然保護部, 東京, 127p .
- 東京都環境保全局自然保護部 (編) (1998b) 東京都の保護上重要な野生生物種. 東京都環境保全局自然保護部, 東京, 77p .
- 鳥取県自然環境調査研究会 (編) (2002) レッドデータブックとつとり - 鳥取県の絶滅のおそれのある野生動物 -. 鳥取県生活環境部環境政策課, 鳥取, 203p .
- 富山県生活環境部自然保護課 (編) (2002) 富山県の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブックとやま -. 富山県生活環境部自然保護課, 富山, 352p .
- 外山三郎 (1980) 長崎県植物誌-1980-. 長崎県生物学会, 長崎, 312p .
- 豊田武司 (2003) 小笠原植物図譜 (増補改訂版). アポック社, 鎌倉, 522p .
- 上野雄規 (1991) 北本州産高等植物チェックリスト. 東北植物研究会, 白石, 365p .
- 和歌山県環境生活部環境生活総務課 (編) (2001) 保全上重要なわかやまの自然-和歌山県レッドデータブック-. 和歌山県環境生活部環境生活総務課, 和歌山, 428p .
- 渡辺定路 (編) (1989) 福井県植物誌. 渡辺定路, 福井, 416p .
- 山形県野生植物調査研究会 (2004) レッドデータブックやまがた絶滅危惧野生植物 (維管束植物). 山形県文化環境部環境保護課, 山形, 294p .
- 山口県野生生物保全対策検討委員会 (2002) レッドデータブックやまぐち山口県の絶滅のおそれのある野生生物. 山口県環境生活部自然保護課, 山口, 513p .
- 山本四郎 (1978) 愛媛県産植物の種類. 愛媛植物研究会, 今治, 217p .
- 山中二男 (1978) 高知県の植生と植物相. 林野弘済会高知支部, 高知, 461p .
- 結城嘉美 (1972) 山形県の植物誌. 山形県の植物誌刊行会, 山形, 403p .

付 記

鳥取県立博物館資料データベース.
[<http://digital-museum.pref.tottori.jp/contents/>]
(2006.7.25参照)

(2006年8月8日受付)
(2006年11月7日受理)

Appendix 1. A check list of Japanese coastal plants 付表1 日本の海岸植物チェックリスト

No.	Family 科	Species 学名	Japanese name 和名	Life form 生活形 ¹⁾	Habitat ハビタット ²⁾	Endemic to Japan 日本固有種	The national RDB categories 全国版RDBカテゴリー ³⁾
1	Lindsacaceae	<i>Sphenomeris biflora</i>	ハマホラシノブ	Pe	RC		
2	Pteridaceae	<i>Acrosticum aureum</i>	ミミモチシダ	Pe	MM		CR
3	Cupressaceae	<i>Juniperus chinensis</i> var. <i>procumbens</i>	ハイビャクシン	Sh (ec)	RC		
4	Cupressaceae	<i>Juniperus conferta</i>	ハイネズ	Sh (ec)	BD		
5	Cupressaceae	<i>Juniperus taxifolia</i> var. <i>lutchuensis</i>	オキナワハイネズ (ハマハイネズ)	Sh (ec)	BD	○	
6	Urticaceae	<i>Boehmeria biloba</i>	ラセイタソウ	Pe	RC	○	
7	Urticaceae	<i>Boehmeria holosericea</i> var. <i>izu-osimensis</i>	オオシマヤブマオ	Pe	GB	○	
8	Polygonaceae	<i>Polygonum polyneuron</i>	アキノミチヤナギ (ハマミチヤナギ)	Mo	BD	○	
9	Polygonaceae	<i>Polygonum tatewakianum</i>	ナガバハマミチヤナギ	Mo	BD	○	
10	Aizoaceae	<i>Sesuvium portulacastrum</i> f. <i>tawadanus</i>	シロミルスベリヒユ	Pe	MM	?	
11	Aizoaceae	<i>Sesuvium portulacastrum</i>	ミルスベリヒユ	Pe	MM		
12	Aizoaceae	<i>Tetragonia tetragonoides</i>	ツルナ	Pe	BD		
13	Portulacaceae	<i>Portulaca okinawensis</i>	オキナワマツバボタン	Pe	RC	○	CR
14	Caryophyllaceae	<i>Cerastium fischerianum</i>	オオバナミミナグサ	Pe	RC		
15	Caryophyllaceae	<i>Dianthus japonicus</i>	ハマナデシコ (フジナデシコ)	Pe	RC		
16	Caryophyllaceae	<i>Dianthus kiusianus</i>	ヒメハマナデシコ	Pe	RC	○	
17	Caryophyllaceae	<i>Honckenya peplodes</i> var. <i>major</i>	ハマハコベ	Pe	BD		
18	Caryophyllaceae	<i>Spergularia marina</i>	ウシオツメクサ (オニツメクサ)	Mo	MM		
19	Caryophyllaceae	<i>Stellaria humifusa</i>	エゾハコベ	Pe	MM		EN
20	Chenopodiaceae	<i>Atriplex gmelinii</i>	ホソバハマアカザ	Mo	MM		
21	Chenopodiaceae	<i>Atriplex subcordata</i>	ハマアカザ	Mo	MM		
22	Chenopodiaceae	<i>Chenopodium acuminatum</i>	マルバアカザ	Mo	BD		
23	Chenopodiaceae	<i>Kochia littorea</i>	イソホウキギ (イソボウキ)	Mo	MM		
24	Chenopodiaceae	<i>Salicornia europaea</i>	アッケシソウ	Mo	MM		EN
25	Chenopodiaceae	<i>Salsola komarovii</i>	オカヒジキ	Mo	BD		
26	Chenopodiaceae	<i>Suaeda glauca</i>	マツナ	Mo	MM		
27	Chenopodiaceae	<i>Suaeda japonica</i>	シチメンソウ	Mo	MM		VU
28	Chenopodiaceae	<i>Suaeda malacosperma</i>	ヒロハマツナ	Mo	MM	○	VU
29	Chenopodiaceae	<i>Suaeda maritima</i>	ハママツナ	Mo	MM		
30	Chenopodiaceae	<i>Suaeda maritima</i> var. <i>australia</i>	シマハママツナ	Mo	BD		
31	Amaranthaceae	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>hachijoensis</i>	ハチジョウウイノコズチ	Pe	GB	○	
32	Amaranthaceae	<i>Phloxeris wrightii</i>	イソフサギ	Pe	RC		
33	Lauraceae	<i>Cassutha filiformis</i>	スナヅル	V(e), Pa	BD		
34	Lauraceae	<i>Cinnamomum doederleinii</i> var. <i>pseudodaphnoides</i>	ケシバニッケイ	Tr (e)	GB	○	
35	Lauraceae	<i>Litsea japonica</i>	ハマビワ	Tr (e)	GB		
36	Ranunculaceae	<i>Halerpestes kawakamii</i>	ヒメキンボウゲ (ツルヒキノカサ)	Pe	MM	○	VU
37	Theaceae	<i>Eurya emarginata</i>	ハマヒサカキ	Sh (e)	GB	○	
38	Papaveraceae	<i>Corydalis heterocarpa</i> var. <i>simadae</i>	ヒゴキケマン	Mo	RC	○	
39	Cruciferae	<i>Arabis kawasakiana</i>	タチスズシロソウ	Mo	BD	○	VU
40	Cruciferae	<i>Arabis stelleri</i> var. <i>japonica</i>	ハマハタザオ	Pe	BD		
41	Cruciferae	<i>Cochlearia oblongifolia</i>	トモシリソウ	Mo	RC		EN
42	Cruciferae	<i>Coronopus integrifolius</i>	ハマガラシ	Mo	BD		
43	Cruciferae	<i>Draba borealis</i>	エゾイヌナズナ (シロバナノイヌナズナ)	Pe	RC		
44	Cruciferae	<i>Isatis yezoensis</i>	ハマタイセイ (エゾタイセイ)	Mo	GB		CR
45	Cruciferae	<i>Raphanus sativus</i> var. <i>raphanistroides</i>	ハマダイコン	Mo	BD		
46	Crassulaceae	<i>Orostachys iwawenge</i> var. <i>boehmeri</i>	コモチレンゲ	Pe	RC	○	VU
47	Crassulaceae	<i>Orostachys malacophyllus</i>	アオノイワレンゲ	Pe	RC		
48	Crassulaceae	<i>Sedum formosanum</i>	ハママンネングサ	Mo	RC		VU
49	Crassulaceae	<i>Sedum uniflorum</i> ssp. <i>oryzifolium</i>	タイトゴメ	Pe	RC		
50	Crassulaceae	<i>Sedum uniflorum</i> ssp. <i>uniflorum</i>	コゴメマンネングサ	Pe	RC		
51	Saxifragaceae	<i>Saxifraga bracteata</i>	キヨシソウ	Pe	RC		CR
52	Rosaceae	<i>Osteomeles anthyllidifolia</i> var. <i>subrotunda</i>	テンノウメ	Sh (e)	RC		VU
53	Rosaceae	<i>Potentilla egedii</i> var. <i>grandis</i>	エゾツルキンバイ	Pe	MM		
54	Rosaceae	<i>Potentilla megalantha</i>	チシマキンバイ	Pe	RC		
55	Rosaceae	<i>Rosa rugosa</i>	ハマナシ (ハマナス)	Sh (d)	BD		
56	Leguminosae	<i>Astragalus sikokianus</i>	ナルトオウギ	Pe	BD	○	EX
57	Leguminosae	<i>Canavalia lineata</i>	ハマナタマメ	Pe	BD		
58	Leguminosae	<i>Dalbergia candanensis</i>	ヒルギカズラ	V (e)	MM		
59	Leguminosae	<i>Dendrobium umbellatum</i>	ナハキハギ	Sh (e)	RC		
60	Leguminosae	<i>Galactia tashiroi</i>	ハギカズラ	Pe	RC		

Appendix 1. Continued.

No.	Family 科	Species 学名	Japanese name 和名	Life form 生活形 ¹⁾	Habitat ハビタット ²⁾	Endemic to Japan 日本固有種	The national RDB categories 全国版RDBカテゴリー ³⁾
61	Leguminosae	<i>Galactia tashiroi</i> f. <i>yaeyamensis</i>	ヤエヤマハギカズラ	Pe	RC	○	CR
62	Leguminosae	<i>Indigofera trifoliata</i>	ミツバノコマツナギ	Pe	GB		
63	Leguminosae	<i>Lathyrus japonicus</i>	ハマエンドウ	Pe	BD		
64	Leguminosae	<i>Lotus australis</i>	シロバナミヤコグサ	Pe	BD		
65	Leguminosae	<i>Ormocarpum cochinchinense</i>	ハマセンナ	Tr (d)	GB		
66	Leguminosae	<i>Sophora tomentosa</i>	イツフジ	Sh (d)	BD		VU
67	Leguminosae	<i>Thermopsis chinensis</i>	クソエンドウ	Pe	GB		
68	Leguminosae	<i>Thermopsis lupinoides</i>	センダイハギ	Pe	BD		
69	Leguminosae	<i>Vigna marina</i>	ハマアズキ	Pe	BD		
70	Leguminosae	<i>Zornia cantoniensis</i>	スナジマメ	Pe	BD		CR
71	Geraniaceae	<i>Geranium yesoense</i> var. <i>pseudo-palustre</i>	ハマフウロ	Pe	GB	○	
72	Zygophyllaceae	<i>Tribulus terrestris</i>	ハマビシ	Mo	BD		EN
73	Euphorbiaceae	<i>Drypetes matsumurae</i>	ツゲモドキ	Tr (e)	GB	○	
74	Euphorbiaceae	<i>Euphorbia chamissonis</i>	スナジタイゲキ (ハマタイゲキ)	Pe	BD		
75	Euphorbiaceae	<i>Euphorbia esula</i> var. <i>nakaii</i>	ハギクソウ	Pe	BD		EN
76	Euphorbiaceae	<i>Euphorbia jolkini</i>	イワタイゲキ	Pe	RC		
77	Euphorbiaceae	<i>Excoecaria agallocha</i>	シマシラキ	Tr (e)	MM		
78	Malpighiaceae	<i>Ryssopteris timoriensis</i>	ササキカズラ	V (e)	MM		VU
79	Celastraceae	<i>Maytenus diversifolia</i>	ハリツルマサキ (トゲマサキ)	Sh (e)	RC		VU
80	Rhamnaceae	<i>Berchemia lineata</i>	ヒメクマヤナギ	Sh (e?)	GB		
81	Rhamnaceae	<i>Paliurus ramosissimus</i>	ハマナツメ	Sh (d)	MM		EN
82	Rhamnaceae	<i>Rhamnus kanagusukii</i>	ヒメクロウメモドキ	Sh (e?)	RC	○	
83	Malvaceae	<i>Hibiscus hamabo</i>	ハマボウ	Sh (d)	MM	○	
84	Malvaceae	<i>Hibiscus tiliaceus</i>	オオハマボウ (ヤマアサ)	Tr (e)	MM		
85	Malvaceae	<i>Thespesia populnea</i>	サキシマハマボウ	Tr (e)	MM		
86	Srerculiaceae	<i>Heritiera littoralis</i>	サキシマスオウノキ	Tr (e)	MM		
87	Violaceae	<i>Viola grayi</i>	イソスミレ (セナミスミレ)	Pe	BD	○	
88	Violaceae	<i>Viola mandshurica</i> var. <i>crassa</i>	アナマスミレ	Pe	BD	○	
89	Violaceae	<i>Viola mandshurica</i> var. <i>triangularis</i>	アツバスミレ	Pe	BD	○	
90	Violaceae	<i>Viola utchinensis</i>	オキナワスミレ	Pe	RC	○	EN
91	Lythraceae	<i>Pemphis acidula</i>	ミズガンビ	Sh (e)	RC		
92	Sonneratiaceae	<i>Sonneratia alba</i>	ハマザクロ (マヤブシギ)	Tr (e)	MM		
93	Lecythidaceae	<i>Barringtonia asiatica</i>	ゴバンノアシ	Tr (e)	GB		CR
94	Lecythidaceae	<i>Barringtonia racemosa</i>	サガリバナ	Tr (e)	MM		
95	Rhizophoraceae	<i>Rhizophora gymnorhiza</i>	オヒルギ (アカバナヒルギ)	Tr (e)	MM		
96	Rhizophoraceae	<i>Kandelia candel</i>	メヒルギ (リュウキュウコウガイ)	Tr (e)	MM		
97	Rhizophoraceae	<i>Rhizophora mucronata</i>	オオバヒルギ (ヤエヤマヒルギ)	Tr (e)	MM		
98	Combretaceae	<i>Lumnitzera racemosa</i>	ヒルギモドキ	Tr (e)	MM		CR
99	Hippuridaceae	<i>Hippuris tetraphylla</i>	ヒロハスギナモ	Pe	MM		
100	Umbelliferae	<i>Angelica japonica</i>	ハマウド	Pe	GB		
101	Umbelliferae	<i>Cnidium japonicum</i>	ハマゼリ	Mo	BD		
102	Umbelliferae	<i>Conioselinum kamschaticum</i>	カラフトニンジン	Pe	BD		
103	Umbelliferae	<i>Glehnia littoralis</i>	ハマボウフウ	Pe	BD		
104	Umbelliferae	<i>Libanotis coreana</i> f. <i>ugoensis</i>	ハマイブキボウフウ	Pe	GB	?	
105	Umbelliferae	<i>Ligusticum hultenii</i>	マルバトウキ	Pe	GB		
106	Umbelliferae	<i>Peucedanum boninense</i>	ムニンハマウド	Pe	BD	○	NT
107	Umbelliferae	<i>Peucedanum japonicum</i>	ボタンボウフウ	Pe	RC		
108	Primulaceae	<i>Glaux maritima</i> var. <i>obtusifolia</i>	ウミミドリ (シオマツバ)	Pe	MM		
109	Primulaceae	<i>Lysimachia mauritiana</i>	ハマボッス	Mo	RC		
110	Plumbaginaceae	<i>Limnium sinense</i>	トウハマサジ (タイワンハマサジ)	Pe	RC		
111	Plumbaginaceae	<i>Limnium tetragonum</i>	ハマサジ	Pe	MM		VU
112	Plumbaginaceae	<i>Limnium wrightii</i>	イソマツ	Pe	RC		VU
113	Gentianaceae	<i>Gentaurium japonicum</i>	シマセンブリ	Mo	GB		
114	Gentianaceae	<i>Gentiana squarrosa</i> var. <i>liukuensis</i>	リュウキュウコケリンドウ	Mo	RC	○	VU
115	Gentianaceae	<i>Swertia noguchiana</i>	ソナレセンブリ	Mo	RC	○	CR
116	Apocynaceae	<i>Apocynum venetum</i> var. <i>basikurumon</i>	バシクルモン (オシヨロソウ)	Pe	GB	○	EN
117	Asclepiadaceae	<i>Cynanchum japonicum</i>	イヨカズラ (スズメノオゴケ)	Pe	GB		
118	Asclepiadaceae	<i>Cynanchum japonicum</i> var. <i>albiflorum</i>	シロバナクサタチバナ (ピロードイヨカズラ)	Pe	GB	?	
119	Rubiaceae	<i>Hedyotis biflora</i> var. <i>parvifolia</i>	ソナレムグラ	Pe	RC		
120	Rubiaceae	<i>Hedyotis careana</i> var. <i>luxurians</i>	オオソナレムグラ	Pe	RC	○	

日本の海岸植物チェックリスト

Local distributions and prefectural RDB categories 分布および都道府県版RDBカテゴリー ⁴⁾																																					
L1	L2					L3					L4	L5		L6			L7	No.																			
Hokkaido	Aomori	Yamagata	Iwate	Chiba	Tokyo(M)	Kanagawa	Shizuoka	Aichi	Mie	Wakayama	Osaka	Hyogo(S)	Okayama	Hiroshima	Shiga	Tokushima	Kagawa	Ehime	Kouchi	Fukuoka	Saga	Nagasaki	Oita	Kumamoto	Miyazaki	Kagoshima(M)	Yaku/Tane	Tokara/Amami	Okinawa	Izu Isls.	Bonin Isls.	No.					
.	61				
.	62			
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	A	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	63					
.	64			
.	65			
.	66			
+	.	C	A	B	X	B	67			
.	68		
.	69		
+	+	A	.	+	70		
.	71	
.	72	
.	73	
.	74	
.	75	
.	76	
.	77	
.	78	
.	79	
.	80	
.	81	
.	82	
.	83	
.	84	
.	85	
.	86	
C	+	A	B	B	A	B	B	C	+	B	87		
+	+	+	A	B	+	+	B	+	+	+	88	
.	89	
.	90	
.	91	
.	92	
.	93	
.	94	
.	95	
.	96	
.	97	
.	98	
+	99	
.	100	
+	+	B	+	B	+	+	+	+	+	+	C	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	101		
+	+	B	+	B	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	102	
+	+	C	+	+	+	C	B	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	103	
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	104
+	+	105
.	106
.	107
+	+	A	.	B	.	A	.	.	+	C	+	108	
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	109	
.	110
.	111
.	112
.	113
.	114
.	115
B	A	.	.	A	116	
.	117
.	118
.	119
.	120

Appendix 1. Continued.

No.	Family 科	Species 学名	Japanese name 和名	Life form 生活形 ¹⁾	Habitat ハビタット ²⁾	Endemic to Japan 日本固有種	The national RDB categories 全国版RDBカテゴリー ³⁾
121	Rubiaceae	<i>Morinda citrifolia</i>	ヤエヤマアオキ	Tr (e)	GB		
122	Rubiaceae	<i>Paederia scandens</i> var. <i>maritima</i>	ハマサオトメカズラ	Pe	BD		
123	Convolvulaceae	<i>Aniseia martinicensis</i>	ナガバアサガオ	Pe	MM		CR
124	Convolvulaceae	<i>Calystegia soldanella</i>	ハマヒルガオ	Pe	BD		
125	Convolvulaceae	<i>Cuscuta chinensis</i>	ハマネナシカズラ	Mo, Pa	BD		
126	Convolvulaceae	<i>Ipomoea gracilis</i>	ソコベニヒルガオ	Pe	BD		
127	Convolvulaceae	<i>Ipomoea pes-caprae</i>	ゲンバイヒルガオ	Pe	BD		
128	Convolvulaceae	<i>Ipomoea stolonifera</i>	アツバアサガオ	Pe	BD		
129	Boraginaceae	<i>Argusia argentea</i>	モンパノキ (ハマムラサキノキ)	Sh (e)	BD		
130	Boraginaceae	<i>Mertensia maritima</i> ssp. <i>asiatica</i>	ハマベンケイソウ	Pe	BD		
131	Boraginaceae	<i>Messerschmidia sibirica</i>	スナビキソウ	Pe	BD		
132	Verbenaceae	<i>Avicennia marina</i>	ヒルギダマシ	Tr (e)	MM		EN
133	Verbenaceae	<i>Lippia nodiflora</i>	イワダレソウ	Pe	BD		
134	Verbenaceae	<i>Vitex rotundifolia</i>	ハマゴウ	Sh (d)	BD		
135	Labiatae	<i>Glechoma luchuensis</i>	ヤエヤマズコウジュ	Pe	RC	○	VU
136	Labiatae	<i>Scutellaria strigillosa</i>	ナミキソウ	Pe	BD		
137	Solanaceae	<i>Lycium sandwicense</i>	アツバクコ (ハマクコ)	Sh (e)	RC		
138	Scrophulariaceae	<i>Linaria japonica</i>	ウンラン	Pe	BD		
139	Scrophulariaceae	<i>Pseudolysimachion kiusianum</i> ssp. <i>maritimum</i>	エチゴトラノオ	Pe	GB	○	
140	Scrophulariaceae	<i>Pseudolysimachion ornatum</i>	トウテイラン	Pe	GB	○	VU
141	Scrophulariaceae	<i>Pseudolysimachion sieboldianum</i>	ハマトラノオ	Pe	RC	○	NT
142	Scrophulariaceae	<i>Scrophularia grayana</i>	エゾヒナノウスツボ	Pe	RC		
143	Scrophulariaceae	<i>Scrophularia grayana</i> var. <i>grayanoides</i>	ハマヒナノウスツボ	Pe	RC	○	
144	Orobanchaceae	<i>Orobanche coerulescens</i>	ハマウツボ	Mo, Pa	BD		
145	Myoporaceae	<i>Myoporum boninense</i>	コハマジンチョウ	Sh (e)	RC		
146	Myoporaceae	<i>Myoporum bontioides</i>	ハマジンチョウ	Sh (e)	MM		VU
147	Valerianaceae	<i>Patrinia scabiosaefolia</i> f. <i>crassa</i>	ハマオミナエシ	Pe	RC	○	
148	Dipsacaceae	<i>Scabiosa japonica</i> f. <i>littoralis</i>	ソナレマツムシソウ	Mo	RC	○	
149	Goodeniaceae	<i>Scaevola sericea</i>	クサトベラ	Sh (e)	BD		
150	Compositae	<i>Achillea alpina</i> ssp. <i>japonica</i>	キタノコギリソウ (ホロマンノコギリソウ)	Pe	GB		VU
151	Compositae	<i>Artemisia congesta</i>	オニオトコヨモギ	Pe	RC	○	VU
152	Compositae	<i>Artemisia fukudo</i>	フクド (ハマヨモギ)	Pe	MM		
153	Compositae	<i>Artemisia japonica</i> ssp. <i>littoricola</i>	ハマオトコヨモギ	Pe	RC		
154	Compositae	<i>Artemisia momiyamae</i>	ユキヨモギ	Pe	RC	○	CR
155	Compositae	<i>Artemisia stelleriana</i>	シロヨモギ	Pe	BD		
156	Compositae	<i>Aster ageratoides</i> ssp. <i>ovatus</i> var. <i>littoricola</i>	ハマコンギク (エノシマヨメナ)	Pe	GB	○	
157	Compositae	<i>Aster asa-grayi</i>	イソノギク	Pe	RC	○	EN
158	Compositae	<i>Aster asa-grayi</i> var. <i>walkerii</i>	ヨナクニイソノギク	Pe	RC	○	CR
159	Compositae	<i>Aster miyagii</i>	オキナワギク	Pe	RC	○	VU
160	Compositae	<i>Aster spathulifolius</i>	ダルマガク	Pe	RC		
161	Compositae	<i>Aster tripolium</i>	ウラギク (ハマシオン)	Mo	MM		VU
162	Compositae	<i>Cirsium brevicaulis</i> var. <i>irumtense</i>	イリオモテアザミ	Pe	GB	○	
163	Compositae	<i>Cirsium maritimum</i>	ハマアザミ	Pe	BD	○	
164	Compositae	<i>Cirsium spinosum</i>	オイランアザミ	Pe	BD	○	
165	Compositae	<i>Crepidiastrum keiskeanum</i>	アゼトウナ	Pe	RC	○	
166	Compositae	<i>Crepidiastrum lanceolatum</i>	ホソバワダン	Pe	RC		
167	Compositae	<i>Crepidiastrum lanceolatum</i> var. <i>daitoense</i>	ダイトウワダン	Pe	RC	○	
168	Compositae	<i>Crepidiastrum platyphyllum</i>	ワダン	Pe	RC	○	
169	Compositae	<i>Crossostephium chinense</i>	モクビヤッコウ	Sh (d)	RC		VU
170	Compositae	<i>Dendranthema arcticum</i> ssp. <i>maekawanum</i>	コハマギク	Pe	RC	○	
171	Compositae	<i>Dendranthema crassum</i>	オオシマノジギク	Pe	RC	○	
172	Compositae	<i>Dendranthema japonicum</i> var. <i>wakasaense</i>	ワカサハマギク	Pe	RC	○	VU
173	Compositae	<i>Dendranthema occidentali-japonense</i>	ノジギク	Pe	RC	○	
174	Compositae	<i>Dendranthema occidentali-japonense</i> var. <i>ashizuriense</i>	アシズリノジギク	Pe	RC	○	
175	Compositae	<i>Dendranthema okiense</i>	オキノアブラギク	Pe	RC	○	
176	Compositae	<i>Dendranthema ornatum</i>	サツマノギク	Pe	RC	○	
177	Compositae	<i>Dendranthema pacificum</i>	イソギク	Pe	RC	○	
178	Compositae	<i>Dendranthema shiwogiku</i>	シオギク	Pe	RC	○	
179	Compositae	<i>Dendranthema shiwogiku</i> var. <i>kinokuniense</i>	キイシオギク (キノクニシオギク)	Pe	RC	○	
180	Compositae	<i>Dendranthema shiwogiku</i> var. <i>ugoense</i>	ウゴシオギク	Pe	RC	○	

Appendix 1. Continued.

No.	Family 科	Species 学名	Japanese name 和名	Life form 生活形 ¹⁾	Habitat ハビタット ²⁾	Endemic to Japan 日本固有種	The national RDB categories 全国版RDBカテゴリー ³⁾
181	Compositae	<i>Dendranthema weyrichii</i>	ビレオギク (エゾノソナレギク)	Pe	RC		VU
182	Compositae	<i>Eupatorium lindleyanum</i> var. <i>yasushii</i>	ハマサワヒヨドリ	Pe	RC	○	
183	Compositae	<i>Heteropappus hispidus</i> ssp. <i>arenarius</i>	ハマベノギク	Mo	BD	○	
184	Compositae	<i>Heteropappus hispidus</i> ssp. <i>insularis</i>	ソナレノギク	Mo	RC	○	
185	Compositae	<i>Ixeris nipponica</i>	イソニガナ	Pe	RC	○	VU
186	Compositae	<i>Ixeris repens</i>	ハマニガナ	Pe	BD		
187	Compositae	<i>Leontopodium kurilense</i>	チシマウスユキソウ	Pe	RC	?	
188	Compositae	<i>Matricaria tetragonosperma</i>	シカギク	Mo	BD		
189	Compositae	<i>Nipponanthemum nipponicum</i>	ハマギク	Pe	RC	○	
190	Compositae	<i>Picris hieracioides</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>litralis</i>	ハマコウゾリナ	Mo?	GB	○	
191	Compositae	<i>Senecio pseudo-arnica</i>	エゾオグルマ	Pe	BD		
192	Compositae	<i>Solidago virgaurea</i> ssp. <i>leiocarpa</i> var. <i>ovata</i>	ハマアキノキリンソウ	Pe	RC	○	
193	Compositae	<i>Taraxacum shikotanense</i>	シコタンタンポポ	Pe	BD	?	EN
194	Compositae	<i>Wedelia biflora</i>	キダチハマグルマ	Pe	GB		
195	Compositae	<i>Wedelia prostrata</i>	ネコノシタ (ハマグルマ)	Pe	BD		
196	Compositae	<i>Wedelia robusta</i>	オオハマグルマ	Pe	BD		
197	Hydrocharitaceae	<i>Enhalus acoroides</i>	ウミシヨウブ	Pe, Su	US		VU
198	Hydrocharitaceae	<i>Halophila decipiens</i>	ヒメウミヒルモ	Pe, Su	US		VU
199	Hydrocharitaceae	<i>Halophila ovalis</i>	ウミヒルモ	Pe, Su	US		NT
200	Hydrocharitaceae	<i>Thalassia hemprichii</i>	リュウキュウスガモ	Pe, Su	US		NT
201	Juncaginaceae	<i>Triglochin asiaticum</i>	シバナ	Pe	MM		VU
202	Juncaginaceae	<i>Triglochin maritimum</i>	オオシバナ	Pe	MM		VU
203	Potamogetonaceae	<i>Ruppia cirrhosa</i>	ネジリカワツルモ	Pe, Su	MM		CR
204	Potamogetonaceae	<i>Ruppia maritima</i>	カワツルモ	Pe, Su	MM		EN
205	Zannichelliaceae	<i>Cymodocea rotundata</i>	ベニアマモ	Pe, Su	US		NT
206	Zannichelliaceae	<i>Cymodocea serrulata</i>	リュウキュウアマモ	Pe, Su	US		NT
207	Zannichelliaceae	<i>Halodule pinifolia</i>	マツバウミジグサ	Pe, Su	US		NT
208	Zannichelliaceae	<i>Halodule uninervis</i>	ウミジグサ (ニラウミジグサ)	Pe, Su	US		NT
209	Zannichelliaceae	<i>Syringodium isoetifolium</i>	シオニラ (ボウバアマモ)	Pe, Su	US		NT
210	Zannichelliaceae	<i>Zannichellia palustris</i> var. <i>indica</i>	イトクズモ	Mo, Su	MM		VU
211	Zosteraceae	<i>Phyllospadix iwataensis</i>	スガモ	Pe, Su	US		
212	Zosteraceae	<i>Phyllospadix japonicus</i>	エビアマモ	Pe, Su	US	○	NT
213	Zosteraceae	<i>Zostera asiatica</i>	オオアマモ	Pe, Su	US		VU
214	Zosteraceae	<i>Zostera caespitosa</i>	スゲアマモ	Pe, Su	US		NT
215	Zosteraceae	<i>Zostera caulescens</i>	タチアマモ	Pe, Su	US		VU
216	Zosteraceae	<i>Zostera japonica</i>	コアマモ	Pe, Su	MM		DD
217	Zosteraceae	<i>Zostera marina</i>	アマモ	Pe, Su	US		
218	Liliaceae	<i>Allium schoenoprasum</i> var. <i>idzuense</i>	イズアサツキ	Pe	RC	○	EN
219	Liliaceae	<i>Asparagus cochinchinensis</i>	クサスキカズラ (テンモンドウ)	Pe	GB		
220	Liliaceae	<i>Asparagus kiusianus</i>	ハマタマボウキ	Pe	BD	○	
221	Liliaceae	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>littorea</i>	ハマカンゾウ	Pe	GB	○	
222	Liliaceae	<i>Lilium maculatum</i>	スカシユリ	Pe	GB	○	
223	Liliaceae	<i>Lilium maculatum</i> ssp. <i>dauricum</i>	エゾスカシユリ	Pe	GB		
224	Liliaceae	<i>Lilium nobilissimum</i>	タモトユリ	Pe	RC	○	CR
225	Amaryllidaceae	<i>Crinum asiaticum</i> var. <i>asiaticum</i>	オオハマオモト	Pe	BD		
226	Amaryllidaceae	<i>Crinum asiaticum</i> var. <i>japonicum</i>	ハマオモト (ハマユウ)	Pe	BD	○?	
227	Amaryllidaceae	<i>Crinum asiaticum</i> var. <i>sinicum</i>	タイワンハマオモト	Pe	BD		
228	Juncaceae	<i>Juncus gracillimus</i>	ドロイ (ミズイ)	Pe	MM		
229	Juncaceae	<i>Juncus haenkei</i>	ハマイ (オオイヌイ)	Pe	MM		
230	Poaceae	<i>Bothriochloa kwashotensis</i>	カシヨウアブラススキ	Pe	RC		
231	Poaceae	<i>Elymus dahuricus</i>	ハマムギ	Pe	GB		
232	Poaceae	<i>Festuca rubra</i> var. <i>pacifica</i>	ヒロハノオオウシノケグサ	Pe	GB	?	
233	Poaceae	<i>Ischaemum antheophoroides</i>	ケカモノハシ	Pe	BD		
234	Poaceae	<i>Ischaemum aristatum</i>	タイワンカモノハシ	Pe	BD		
235	Poaceae	<i>Ischaemum aureum</i>	ハナカモノハシ	Pe	RC	○	
236	Poaceae	<i>Ischaemum muticum</i>	ヤエヤマカモノハシ	Pe	BD		
237	Poaceae	<i>Lepturus repens</i>	ハイシバ	Pe	BD		VU
238	Poaceae	<i>Leymus mollis</i>	テンキグサ (ハマニンニク)	Pe	BD		
239	Poaceae	<i>Miscanthus condensatus</i>	ハチジョウススキ	Pe	RC	○	
240	Poaceae	<i>Pennisetum sordidum</i>	シマチカラシバ	Pe	RC	○	

Appendix 1. Continued.

No.	Family 科	Species 学名	Japanese name 和名	Life form 生活形 ¹⁾	Habitat ハビタット ²⁾	Endemic to Japan 日本固有種	The national RDB categories 全国版RDBカテゴリー ³⁾
241	Poaceae	<i>Phacelurus latifolius</i>	アイアシ	Pe	MM		
242	Poaceae	<i>Poa eminens</i>	オニイチゴツナギ	Pe	BD		
243	Poaceae	<i>Poa macrocalyx</i> var. <i>fallax</i>	ワタゲソモソモ	Pe	GB		
244	Poaceae	<i>Poa macrocalyx</i> var. <i>scabriflora</i>	ザラバナソモソモ	Pe	GB		
245	Poaceae	<i>Poa macrocalyx</i> var. <i>tatewakiana</i>	ホソバナソモソモ	Pe	GB		
246	Poaceae	<i>Puccinellia kurilensis</i>	チシマドジョウツナギ	Pe	MM		
247	Poaceae	<i>Puccinellia nipponica</i>	タチドジョウツナギ	Pe	MM		
248	Poaceae	<i>Saccharum spontaneum</i> var. <i>arenicola</i>	ワセオバナ	Pe	GB		
249	Poaceae	<i>Setaria viridis</i> var. <i>pachystachys</i>	ハマエノコロ	Mo	RC		
250	Poaceae	<i>Spinifex littoreus</i>	ツキイゲ	Pe	BD		
251	Poaceae	<i>Sporobolus hancei</i>	ヒメネズミノオ	Pe	BD		CR
252	Poaceae	<i>Sporobolus virginicus</i>	ソナレシバ	Pe	BD		
253	Poaceae	<i>Thuarea involuta</i>	クロイワザサ	Pe	BD		
254	Poaceae	<i>Zoysia macrostachya</i>	オニシバ	Pe	BD	○	
255	Poaceae	<i>Zoysia sinica</i>	コオニシバ	Pe	BD		
256	Poaceae	<i>Zoysia sinica</i> var. <i>nipponica</i>	ナガミノオニシバ	Pe	MM		
257	Palmae	<i>Nypa fruticans</i>	ニッパヤシ	Sh (e)	MM		VU
258	Cyperaceae	<i>Bolboschoenus planiculmis</i>	イセウキヤガラ	Pe	MM		
259	Cyperaceae	<i>Carex boottiana</i>	ヒダスゲ (イソスゲ)	Pe	RC		
260	Cyperaceae	<i>Carex fibrillosa</i>	ハマアオスゲ	Pe	BD		
261	Cyperaceae	<i>Carex gmelinii</i>	ネムロスゲ	Pe	GB		VU
262	Cyperaceae	<i>Carex kobomugi</i>	コウボウムギ (フデクサ)	Pe	BD		
263	Cyperaceae	<i>Carex mackenziei</i>	ノルゲスゲ (カラフトスゲ)	Pe	MM		EN
264	Cyperaceae	<i>Carex macrocephala</i>	エゾノコウボウムギ	Pe	BD		
265	Cyperaceae	<i>Carex meridiana</i>	イソアオスゲ	Pe	RC	○?	
266	Cyperaceae	<i>Carex pumila</i>	コウボウシバ	Pe	BD		
267	Cyperaceae	<i>Carex ramenskii</i>	ウシオスゲ	Pe	MM		VU
268	Cyperaceae	<i>Carex rugulosa</i>	オオクグ	Pe	MM		VU
269	Cyperaceae	<i>Carex sakonis</i>	サコスゲ	Pe	RC	○	NT
270	Cyperaceae	<i>Carex scabrifolia</i>	シオクグ	Pe	MM		
271	Cyperaceae	<i>Carex scita</i> var. <i>scabrinervia</i>	シコタンスゲ	Pe	GB		VU
272	Cyperaceae	<i>Carex subspathacea</i>	ヒメウシオスゲ	Pe	MM		CR
273	Cyperaceae	<i>Eleocharis kamtschatica</i>	ヒメハリイ (ヒメヌマハリイ)	Pe	MM		
274	Cyperaceae	<i>Eleocharis parvula</i>	チャボイ	Pe	MM		VU
275	Cyperaceae	<i>Fimbristylis cymosa</i>	シオカゼテンツキ	Pe	RC		
276	Cyperaceae	<i>Fimbristylis ferruginea</i> var. <i>sieboldii</i>	イソヤマテンツキ	Pe	MM		
277	Cyperaceae	<i>Fimbristylis longispica</i>	ナガボテンツキ	Pe	MM		
278	Cyperaceae	<i>Fimbristylis pacifica</i>	イソテンツキ	Pe	MM	○	
279	Cyperaceae	<i>Fimbristylis sericea</i>	ビロードテンツキ	Pe	BD		
280	Orchidaceae	<i>Epipactis papillosa</i> var. <i>sayekiana</i>	ハマカキラン	Pe	GB	○	VU

- 1) Life form: Mo, Monocarpic herb; Pe, Perennial herb; Sh(d), Deciduous shrub; Sh(e), Evergreen shrub; Sh(cc), Evergreen coniferous shrub; Tr(d), Deciduous tree; Tr(e), Evergreen tree; Vi(e), Evergreen vine; Pa, Parasite; Su, Submerged.
- 2) Habitat: RC, Rocky coast or cliff; BD, Beach, dune or shingle; MM, Salt marsh, mangrove or estuarine brackish water; GB, Grassland or bush; US, Under sea.
- 3) The national RDB categories: The ranking categories in the Japanese national RDB (Environment Agency of Japan, 2000). EX, Extinct; CR, Critically Endangered; EN, Endangered; VU, Vulnerable; NT, Near Threatened; DD, Data Deficient.
- 4) Local distribution and prefectural RDB categories: L1, Hokkaido; L2, Japan sea coast of Honshu; L3, Pacific coast of Honshu; L4, Lake Biwa in Shiga Pref.; L5, Shikoku; L6, Kyusyu; L7, Southern Islands.
Tokyo(M), Main land of Tokyo Pref.; Hyogo(N), Japan sea coast of Hyogo Pref.; Hyogo(S), Pacific coast of Hyogo Pref.; Kagoshima(M), Main land of Kagoshima Pref.; Yaku/Tane, Yakushima Is., Tanegashima Is. and Koshikijima Is.; Tokara/Amami, Tokara Is. and Amami Is.
X, Correspond to "extinct" or "extinct in the wild"; A, Correspond to "critical endangered" or "endangered"; B, Correspond to "vulnerable"; C, Correspond to "near threatened"; D, Correspond to "data deficient"; +, Commonly present.

日本の海岸植物チェックリスト

Local distributions and prefectural RDB categories 分布および都道府県版RDBカテゴリー ⁴⁾																																							
L1	L2							L3					L4	L5		L6			L7		No.																		
Hokkaido	Aomori	Yamagata	Iwate	Miyagi	Fukushima	Ibaraki	Chiba	Tokyo(M)	Kanagawa	Shizuoka	Aichi	Mie	Wakayama	Osaka	Hyogo(S)	Okayama	Hiroshima	Shiga	Tokushima	Kagawa	Ehime	Kouchi	Fukuoka	Saga	Nagasaki	Oita	Kumamoto	Miyazaki	Kagoshima(M)	Yaku/Tane	Tokara/Amami	Okinawa	Izu Isls.	Bonin Isls.	No.				
+	+	A	+	B	C	B	C	C	B	C	B	B	+	+	B	+	+	+	+	C	+	C	+	+	+	+	+	C	C	C	A	+	+	+	+	241			
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	242		
C	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	243		
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	244	
C	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	245	
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	246	
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	247	
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	248	
+	+	C	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	249	
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	250
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	251
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	252
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	253
C	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	254
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	255
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	256
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	257
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	258
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	259
+	+	D	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	260
+	B	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	261
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	262
C	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	263
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	264
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	265
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	266
B	A	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	267
C	B	A	B	+	B	D	+	B	C	+	C	B	A	B	+	X	A	+	A	A	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	268	
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	269
B	+	A	A	+	+	C	X	+	B	+	+	+	+	+	+	C	C	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	270
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	271
+	A	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	272
+	+	B	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	273
+	A	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	274
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	275
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	276
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	277
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	278
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	279
+	B	A	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	280

- 生活形: Mo, 1年草または2年草; Pe, 多年草; Sh(d), 落葉低木; Sh(e), 常緑低木; Sh(ec), 常緑針葉低木; Tr(d), 落葉高木または落葉小高木; Tr(e), 常緑高木または常緑小高木; Vi(e), 常緑藤本; Pa, 寄生植物; Su, 沈水植物。
- ハビタット: RC, 岩場・海崖・隆起サンゴ礁; BD, 砂浜・砂丘・礫浜; MM, 塩湿地・マングローブ・河口汽水域; GB, 海岸風衝草原・海岸低木林; US, 浅海域。
- 全国版RDBカテゴリー: EX, 絶滅; CR, 絶滅危惧IA類; EN, 絶滅危惧IB類; VU, 絶滅危惧II類; NT, 準絶滅危惧; DD, 情報不足(環境庁野生生物局2000)。
- 分布および都道府県版RDBカテゴリー: L1, 北海道; L2, 本州日本海側; L3, 本州太平洋側; L4, 琵琶湖(滋賀県); L5, 四国; L6, 九州; L7, 南方の島嶼。Tokyo(M), 東京都本土; Hyogo(N), 兵庫県日本海側; Hyogo(S), 兵庫県瀬戸内海側; Kagoshima(M), 鹿児島県本土; Yaku/Tane, 鹿児島県の吐喝喇海峡以北の島嶼(屋久島・種子島・甌島列島・草垣群島・宇治群島); Tokara/Amami, 鹿児島県の吐喝喇海峡以南の島嶼(吐喝喇列島・奄美諸島)。X, 全国版RDBの絶滅(EX)・野生絶滅(EW)相当; A, 全国版RDBの絶滅危惧IA類(CR)・IB類(EN)相当; B, 全国版RDBの絶滅危惧II類(VU)相当; C, 全国版RDBの準絶滅危惧(NT)相当; D, 全国版RDBの情報不足(DD)相当; +, 分布あり。